

安曇野市各種条例の前文例

■安曇野市議会基本条例

地方自治を推進し自主自立のまちづくりを進めるためには、市民の自治意識の向上、市民との信頼関係、協働の精神が不可欠である。

議員と市長が共に選挙により市民の信託を受け、議会と市長が対等な立場で相互の緊張ある関係を保ちながら市政運営を行う二元代表制の下で、議会は市民の多様な意見や利益を代表する合議制機関として、監視機能、立法機能及び市民の意思決定機関として議決責任を深く認識することが求められ、その使命と責務は重大である。

安曇野市議会は、この地が輩出した先人の進取の気風と主体的な政治風土に根ざした活発な議論を重んじ、市民に開かれた議会、市民参加を推進する民主的な議会の実現を目指すことを決意する。

よって、住民自治を推進し団体自治を確立する地方自治の本旨にのっとり、不断の議会改革を重ねながら市民の信託に全力で応えていくことを誓い、この条例を制定する。

■安曇野市地下水の保全・涵（かん）養及び適正利用に関する条例

豊満な水をたたえる拾ヶ堰（せぎ）、残雪の北アルプスが映える水田の水面、奔流となって湧き出でる湧水、これらはいずれも安曇野を代表する風物である。私たちの日々の生活やわさび栽培をはじめとするさまざまな産業は、そして安曇野のうるわしい風土や固有の文化は、この豊かな水環境に支えられてきた。この豊かな水環境を育ててきたもの、それは先人たちが辛苦の末に切り開いた農業用水路や水田などの社会共通資本である。

しかしながら、豊かな水環境を享受してきた安曇野にも大きな変化が生じ始めている。産業構造の変化と米をめぐる昨今の情勢は、確実に我が国の、そして安曇野の水田農業を蝕んできた。そのため、地下水の減少や水質の劣化も見受けられ、その恩恵を享受することができなくなりつつある。

地下水は、安曇野市民共有のかけがえのない財産である。私たちは、この貴重な水資源である地下水を有効に活用してだけでなく、守り、育み、子々孫々まで伝えるため、この条例を制定する。

■ 安曇野市の適正な土地利用に関する条例

安曇野市は、北アルプスの秀麗な山並みを背景としたなだらかな扇状地に、清らかな水と緑豊かな田園の織り成す美しい風土を築くとともに、個性豊かで創造的な文化と産業を程よく調和させながら発展してきた。

私たちは、これからもこの恵まれた自然や美しい景観をまもり、活かしながら、秩序ある発展を継続することによって、誰もが住みたい、働きたいと思えるまち、訪れてみたいと感じてもらえるまちをつくり、育て、次の世代に受け継いでいかなければならない。

本市は、合併時の課題となっていた土地利用制度について、独自条例を制定し統一を図ることとし、「豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守り、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくり」を目標像に掲げ、まちづくりの基盤となる土地の適正かつ合理的な利用を推進するために、この条例を制定するものである。